

## 「2020年の東京の文化政策検討部会」からの提案について

発言者	各委員からの提案
吉本 光宏	ローザンヌとブエノスアイレスで開催される知事のプレゼンで、文化について強くアピールできることが重要
太下 義之	短歌や初音ミクなど日本人の共有の文化を活かし、新たな文化を創り、全世界に発信する
山本 容子	Arts in Hospital(病院で過ごす人たちの心を平等に取り扱うアート)という、病院で患者の心を癒すプロジェクトを行う
	世界中の人が知っている浮世絵作者、葛飾北斎をテーマに何かできるのではないか
佐藤 可士和	世界に対して、日本という国をブランド化するために必要なコンセプトをはっきりさせることが重要
	現代までの多くの日本の文化資産を、世界に対し、どのようなストーリーでわかりやすく話していくかということが重要
わたせ せいぞう	羽田空港のイミグレーションにキャラクターを設置するなど、世界の財産である漫画やアニメで世界の子供たちをお迎えする
	世界一かわいいオリンピックにする
東 浩紀	テクノロジー＝文化という発想をコンセプトとし、クールジャパンと国際的なアートを融合させて東京の魅力を伝えるため、広がりのあるプロジェクトを展開する
日比野 克彦	上野の杜にある文化施設が連携して、文化的なオリンピックテーマのプログラムを行う（例：東京都美術館と藝大による「あいうえの」プロジェクト）
	オリンピックが来ると、いろんな文化プログラムができるということをアピールするため、地域を重視したプログラムを展開する
北川原 温	上野地区の各館の塀を取り払うなどにより、上野を文化プログラムのコアエリアにする
勝間 和代	日本のメディアの注目度を上げるために、1億円の懸賞金をかけたプログラムコンテストの実施
	東京中の博物館をぐるぐる廻って楽しめるイベントやインターネット上の博物館仮想体験の実施
	文化プログラムを9月までに作成し、現実感を出す
田嶋 幸三	ワールドカップ出場決定時の東京タワーライトアップのように、街中のビル等で、招致のロゴやシンボルカラーを彩らせる
北川 達夫	日本独自の国際的な言語カテストを普及拡大し、世界に浸透させる
	2020年にビブリオバトルの世界大会を開催
熊本 マリ	コンサートホール等の周囲のレストランの深夜営業や、早朝から仕事をするなど、ライフスタイルを多様化させる
	老人ホーム等で、ピアニストが入所者と一緒にピアノを弾くなどにより、音楽を一緒に楽しむ
	東京のテーマソングをオリンピックにちなんで作るなど、スポーツと音楽をコラボレーションさせる